

♪ 声に出して読みたい英文 ④

ここで紹介するのは、『マザーグース』の1つ Sing a Song of Sixpence (6ペンスの歌をうたおう)である。18世紀頃、王侯貴族の料理として、生きた鳥をパイにつめて焼き、食卓でパイを切り開くと、鳥が生きたまま出てくるというものがあったと言われている。詩の前半はその様子をうたったものである。各連の2行目と4行目が脚韻を踏んでいる (rye — pie, sing — king, money — honey, clothes — nose) ことにも注意しよう。

Sing a song of sixpence,

A pocket full of **rye**,*

Four and twenty blackbirds,*

Baked in a **pie**.

When the pie was opened,

The birds began to **sing**;

Wasn't that a dainty dish,*

To set before the **king**?

The king was in his counting-house,*

Counting out his **money**;

The queen was in the parlour,*

Eating bread and **honey**.

The maid was in the garden,

Hanging out the **clothes**,

When down came a blackbird,

And pecked off* her **nose**.

注 rye ライ麦 blackbird クロウタドリ dainty dish おいしい料理
counting-house 財務・会計を管理する部門(場所) parlour = parlor 居間
peck off (鳥などが)くちばしでつつく



第10章 比較

イメージをつかもう

大きな古時計

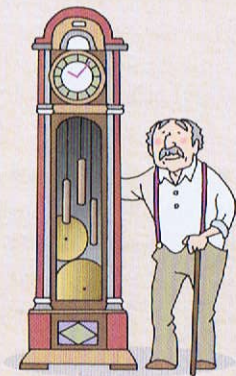
“大きなのっぼの古時計、おじいさんの時計”

で始まる「大きな古時計」。平井堅がうたってヒットしましたね。これはもともと英語の歌で、原題は *My Grandfather's Clock* と言います。

My grandfather's clock
Was too large for the shelf,
So it stood ninety years on the floor;
It was **taller** by half
Than the old man himself
But it weighed not a pennyweight more.

おじいさんの時計は
棚にのせるには大きすぎて、
90年間床に立っていた。
おじいさんの半身分、
おじいさん自身よりも背が高く
でも1ペニーウエイトも重くなかった。

日本語の歌詞では「100年いつも動いていた」でしたが、本当は90年だったんですね。そして時計がどのくらい「のっぼ」だったかというところ、実際はおじいさんの背丈の半身分「のっぼ」だったんですね。おじいさんと時計の背丈を比べるのに、比較表現がここで用いられています。



比較のための形

英語ではものを比べる場合、形容詞を変化させ、比較級という形にして使います。ここでは tall(背が高い)に -er をつけた **taller** を使っています。日本語では形容詞「高い」の部分は形が変わりませんが、英語では違う形を使うのです。

It was **taller by half than** the old man himself.

それはいっそう背が高かった おじいさん自身よりも

さて、間に入った by half は何でしょうか。このような by ~ は比較の差を表し、

I am older than my brother **by three years**. (私は弟より3歳年上だ)

などの語順でも用いられます。

この場合は、half(半分)だけ高いのですから、なんと時計はおじいさんの背丈の1.5倍あるということになります。

マザー・グースのなぞなぞ

比較は「…のほうが~」ばかりではありません。AとBを比較した結果「同じくらい~だ」ということもあります。同等を表す言い方をするときには as ~ as ... を使います。

さて、ここに as ~ as ... を使ったなぞなぞ歌があります。何を表しているかわかりますか。

In marble walls as white as milk,

大理石

Lined with a skin as soft as silk,

裏打ちされて 皮 絹

Within a fountain crystal clear,

泉 非常に澄んだ

A golden apple doth appear ...

= does 現れる

ミルクのように白い大理石の壁に囲まれ

内部を絹のように柔らかな皮でおおわれ

非常に澄んだ泉の中に

金色のリンゴが現れる



これはマザー・グースの歌の1つです。as white as milkで「ミルクと同じくらい白い」、as soft as silkで「絹と同じくらい柔らかな」の意味になります。as, asで形容詞をはさんで、どんな尺度で同じなのかを表しているのです。同等であることを表す場合は、形容詞や副詞の形を変える必要はありません。

では、なぞなぞの答えは……？ 卵です。白い壁(殻)の内側に柔らかな皮(卵殻膜)があり、透き通った液体(卵白)の中に金色の丸い物体(卵黄)がある……というわけです。

形容詞・副詞の意味と比較

ここで気をつけなければならないのは、形容詞・副詞はふつうに使うときと比較を表すのに使うときが、同じ意味になるとは限らないことです。例えば old はふつう、高齢であることを表しますが、比較の文ではそうとは限りません。

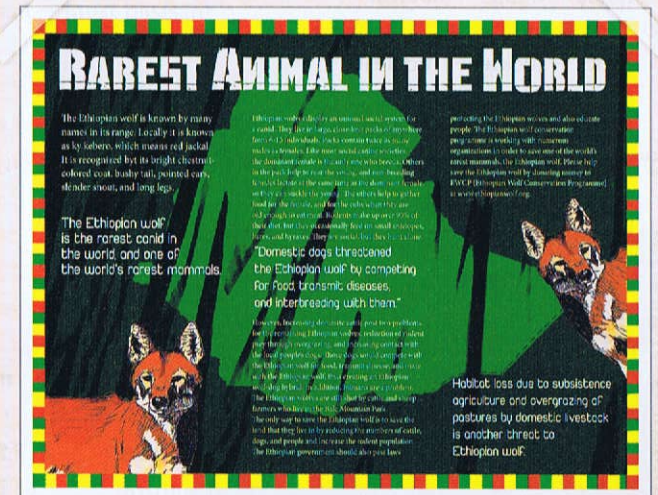
Mike is **old**. (マイクは老人だ)

年とっている

Jane is as **old** as Mike. (ジェーンはマイクと同じ年だ)

同じ年である

この章ではこのような比較の文について、くわしく見ていきましょう。



▲ Rarest Animal in the World(世界で最も珍しい動物)
Ethiopian wolf(アビシニアジャッカル)の保護を訴えるパンフレット

§102 必修

規則的な比較変化

〔原級〕	〔比較級〕	〔最上級〕
(1) high (高い)	higher	highest
(2) clever (賢い)	cleverer	cleverest
(3) narrow (狭い)	narrower	narrowest
(4) quickly (速く)	more quickly	most quickly
(5) important (重要な)	more important	most important

形容詞と副詞の比較変化には、規則的なものと不規則なものがある。不規則な比較変化は
規則的な比較変化には、〈原級 + -er, -est〉と〈more, most + 原級〉の2通り
の形がある。原級とは、形容詞・副詞のもとの形を言う。 p.226 参照

Point 1 原級 + -er, -est 型の比較変化

1音節の語(1)と2音節の語の一部(語尾が -y, -er, -le, -ow などのもの)
(2)(3)は原級の語尾に -er, -est をつけて、「いっそう〜」や「最も〜」の
意味を表す比較級・最上級をつくる。

warm (暖かい) — warmer — warmest

〔1音節〕

!注意 -er, -est のつけ方

① -e で終わる語は、-r, -st だけをつける。

large — larger — largest
wise — wiser — wisest
noble — nobler — noblest

② 〈子音字 + y〉で終わる語は、y を i にかえて -er, -est をつける。

lucky — luckier — luckiest
dry — drier — driest
easy — easier — easiest

③ 〈短母音 + 1子音字〉で終わる語は、子音字を重ねて -er, -est をつける。

big — bigger — biggest
hot — hotter — hottest

音節とは、母音を中心とする音のまとまりを言う。辞書では、im·por·tant のように、「·」で音節の区切りが示されている。

p.517 参照

Point 2 more, most + 原級型の比較変化

2音節の語の大部分(4)と、3音節以上の語(5)は、原級の前に more, most
をつけて比較級、最上級をつくる。

fa·mous (有名な) — more famous — most famous

〔2音節〕

nat·u·ral (自然な) — more natural — most natural

〔3音節〕

1 〈more, most + 原級〉型の2音節の形容詞

a- で始まるか、-ful, -less, -out, -ish, -ed, -ing など
で終わる。

(例) afraid (恐れて), careful (注意深い), worthless (価値のない), precious (貴重な), selfish (利己的な), confused (混乱した), boring (退屈な) など

2 〈more, most + 原級〉型の2音節の副詞

p.466 参照

〈形容詞 + -ly〉の形。

(例) freely (自由に), safely (安全に) など

!注意 early, friendly の比較変化

副詞・形容詞の early (早く, 早い), 形容詞の friendly (仲がよい) は -er, -est 型。

early — earlier — earliest

friendly — friendlier — friendliest

Q参考 規則変化の例外

以上の比較変化のルールはおおまかなもので、実際には、次のような例外がある。

① 〈more, most + 原級〉型の1音節の語

語尾が -ed で終わる過去分詞から形容詞化した bored (退屈した),
pleased (喜んで) など。

bored — more bored — most bored

pleased — more pleased — most pleased

② 〈原級 + -er, -est〉と〈more, most + 原級〉の2通りの変化が可能な語

sure (確かな), true (真実の), common (共通の), gentle (やさしい),
pleasant (楽しい), quiet (静かな) など。

common { commoner — commonest
more common — most common

pleasant { pleasanter — pleasantest
more pleasant — most pleasant

please (どうぞ) の ea は [i:] と発音するが、pleasant [plézn̩t] の ea は [e]。

CHECK AND EXPRESS 102

次の語の比較級・最上級を書きなさい。

1. soon 2. pretty 3. thin 4. early 5. rich 6. hard 7. delicate 8. freely 9. common



the highest mountain
in Japan ▶

§ 103 必修

不規則的な比較変化

〔原級〕	〔比較級〕	〔最上級〕
(1) good (よい, 親切)	better	best
(2) well (健康な, 上手)		
(3) bad (悪い)	worse	worst
(4) ill (病気の, 悪く)		
(5) many (多数)	more	most
(6) much (多量の, とても)		
(7) little (少しの, 少し)	less	least

Point 不規則に変化する形容詞・副詞もある

good, manyなどは原級と全く異なる形の比較級・最上級をつくる。上のように、複数の語が同じ変化をする。数は少ないが、よく使う語が多い。

注意 2通りの比較変化をする語

①形容詞・副詞には、意味によって2通りの比較変化をする語もある。

old (年とった/年上の)	older — oldest	〔年齢・新旧〕
	elder — eldest*	〔長幼〕
late (遅い/後半の)	later — latest	〔時間〕
	latter — last*	〔順序〕
far (遠い/さらに)	farther — farthest	〔距離〕
	further — furthest	〔程度・距離〕

laterのaは [ei] と読み、latterのaは [æ] と読む。

*「年上」を表す elder, eldest はやや堅い〔英〕の語で、〔米〕ではこの意味でも通常 older, oldest を用いる。

elder brother〔英〕= older brother〔米〕(兄)

*elder, eldest と latter, last は限定用法(名詞の前)でのみ用いる。
the latter half of the year (その年の後半)

② good-, well-, ill- などの複合語も2通りの変化をするが、意味は同じ。

good-looking (器量のよい)	better-looking — best-looking
	more good-looking — most good-looking
well-known (よく知られた)	better-known — best-known
	more well-known — most well-known
ill-tempered (気難しい)	worse-tempered — worst-tempered
	more ill-tempered — most ill-tempered

参考 比較変化をしない語

main (主要な), only (唯一の), always (いつも), quite (まったく)などは、比較変化をしない。

CHECK AND EXPRESS 103

次の語の比較級・最上級を書きなさい。

- 1. little 2. bad 3. many

§ 104 必修

原級を用いた比較表現(1) as ~ as

228 You are as hardworking as Mr. Kimura (is). 君は木村君と同じくらい勤勉だ。

229 He can speak English as well as you. 彼は君と同じほど上手に英語が話せる。

Point as ~ as ... 「…と同じほど〜」

〈A ... as + 原級 + as B〉は「AはBと同じほど〜」の意味を表す。A, B 2つのものを比べて、その程度が同じであることを述べる表現(同等比較)。

注意 最初の as の前には almost (ほとんど), just (ちょうど), quite (全く)などの修飾語を添えることができる。

He can skate almost as well as a pro. (彼はプロとほとんど同じくらい上手にスケートができる)

You are just as tall as my brother. (あなたは私の兄とちょうど同じくらいの高さです)

pro は professional (プロの選手)の略。

注意 2番目の as の後に代名詞が来る場合、目的格か、〈主格+(助)動詞〉の形がよく使われる。主格の代名詞だけを用いるのは文語的で、現在ではあまり使われていない。

She likes music as much as { me [I do]. (口語的) / I. (文語的) } (彼女は私と同じくらいとても音楽が好きです)

参考 as + 形容詞 + a [an] + 名詞 + as

as ~ as では含まれた形容詞の後に、名詞が入ることがある。名詞が単数の場合、語順は〈形容詞 + a [an] + 名詞〉となる。

He is as hard a worker as you (are).

as 形容詞 a [an] 名詞 as

(彼は君と同じくらい勤勉だ) [× as a hard worker as ... は誤り]

参考 同一人[物]の異なった性質の比較

as ~ as で、同一人[物]の異なった性質や状態などについて述べることもできる。この場合は前後の節の主語が同じなので、2番目の as に続く〈S + V〉を省略できる。

She is as bright as (she is) beautiful.

(彼女は美しいと同じくらい頭もいい[才色兼備だ])

CHECK AND EXPRESS 104

日本語の意味を表すように、()内の語(句)を並べかえなさい。

- 1. ユミは姉と同じくらい背が高い。
Yumi (her older sister / as / is / as / tall).
- 2. 彼は弟と同じくらい勤勉だ。
He is (as / as / quite / diligent) his younger brother.

§105 必修

原級を用いた比較表現(2) not as ~ as など

230 I cannot speak English as well as Naomi.

私はナオミほど上手に英語が話せません。

231 This building is three times as high as that one.

このビルはあのビルの3倍の高さがある。

Point 1 not as ~ as ... 「…ほど～でない」

〈A ... not as [so] + 原級 + as B〉は「AはBほど～でない」と、AとBの程度が違うことを表す。230では、「私」と「ナオミ」の英語力の程度が同じでない(ナオミのほうが上手である)ことを表している。最初のasとsoはどちらを使ってもよいが、asのほうが口語的。

You are not as [so] brave as George.

(あなたはジョージほど勇敢ではない)

【注意】 話の流れからみて意味が明らかな場合は、2番目のas以下すべてを省略してもかまわない。

You are honest, but he is not as honest (as you).

(あなたは正直だが、彼はあなたほど正直ではない)

Point 2 _ times as ~ as ... 「…の__倍～である」

〈A ... _ times as + 原級 + as B〉は「AはBの__倍～である」を表す。

231では「このビル」と「あのビル」の差が3倍であることを示している。「3倍」以上の場合は、three timesのように〈数詞 + times〉を用いるが、「2倍」「半分」「3分の1」などの場合は、その代わりにtwice, half, one thirdを用いる。

He is twice as old as you (are). (彼はあなたの2倍の年齢です)

My income is only one third as large as yours.

(私の収入はあなたの収入のほんの3分の1です)

【参考】 〈_ times the size of B〉など

timesの後には名詞も使われる。〈_ times the size of B〉は「Bの__倍の大きさ」の意味。sizeの代わりにage(年齢), height(高さ), number(数)なども使われる。

My room is about half the size of this one.

→ My room is about half as large as this one.

(私の部屋はこの部屋の大体半分の大きさです)

incomeは「収入」。
↔ 「支出」はoutgo。
outcomeは「結果、
成果」のこと。

CHECK AND EXPRESS 105

日本語の意味を表すように、()内に適当な1語を入れなさい。

- 私はあなたほどたくさんCDを持っていない。 I () have () many CDs () you have.
- 伊藤さんはあなたの2倍働く。 Mr. Ito works () () hard () you.

§106 必修

比較級を用いた比較表現(1) ~ than

232 Australia is smaller than South America. オーストラリアは南アメリカより小さい。

233 Love is more important than money. 愛はお金よりも重要だ。

Point 比較級 + than 「よりいっそう～」

〈A ... 比較級 + than B〉は「AはBよりいっそう～」の意味を表し、2つのものを比べて、一方が他方より程度が高いことを表す。

接続詞than以下の〈S+V〉は、意味が明らかなどときにはよく省略される。

He is fatter than (he was) when I last saw him.

(彼はこの前会ったときより太っている)

than以下全部が省略されることもある。

She looks more beautiful in a kimono.

(彼女は和服のほうが美しく見える)

*than she does in Western clothes が省略されている。

【参考】 同一人[物]についての比較

同一人[物]についての異なった状態や性質などを比べるときは、-erをつけて比較級をつくる語でもmore ~ than ... の形にする。「…というよりむしろ～」の意味を表す。

It is more hot than warm today. *hotterとしない。

(今日は暖かいというよりむしろ暑い)

kimono [kə'mɒnəʊ]
は日本語由来の英語。
他に, judo(柔道),
sushi(寿司), sake
(酒)も。



ギモンのツネ (27)

I called her earlier than Jim. で比べているのは「彼女に電話した」順番? 「私が電話した」順番?

I called her earlier than Jim. (私はジムよりも先に彼女に電話をかけた)は2通りの解釈が可能だ。

①「ジムが彼女に電話したよりも」 私▶彼女 → ジム▶彼女

②「私がジムに電話したよりも」 私▶彼女 → 私▶ジム

thanに続くのが(代)名詞だけの場合、意味があいまいになることがあるので、このような場合意味をはっきりさせるため、thanの後に〈S+V ~〉を用いるのが好ましい。

① → I called her earlier than

{	Jim did.	(ジムよりも私のほうが先に彼女に電話をかけた)
	Jim called her.	

② → I called her earlier than I called Jim. (ジムより彼女のほうに私は先に電話をかけた)
これはas ~ asを用いた比較表現の場合についても言える。

➔ 〈than + (代)名詞〉だけでは意味があいまいになることもある

CHECK AND EXPRESS 106

日本語の意味を表すように、()内の語を並べかえなさい。

- あなたの部屋は私のよりも広い。 Your room (larger / is / mine / than).
- 私はいつもより早く家を出た。 I left (usual / than / home / earlier).

§107 必修

比較級を用いた比較表現(2) 比較級を修飾する語句など

- 234 I am **two years older than** my sister. 私は妹より2歳年上です。
 235 Anna is **the taller of the two girls**. アンナは2人の少女のうち背の高いほうだ。
 236 This book is **less interesting than** that one. この本はあの本ほどおもしろくない。

Point 1 数量を表す語(句)+比較級+ than

2つのものの数量の差を示す場合は、数量を表す語句を比較級の前に置く。

234 では older の前に two years(2年)を置いて年の差を示している。

I am **three inches taller** than my brother.

(私は弟より3インチ背が高い)

数量の差は後に (by + 数量) を置いても表せる。

= I am taller than my brother **by three inches**.

inch は長さの単位。
1インチは約2.4cm。

Point 2 比較級を強める語(句)+比較級+ than

比較の程度の差をはっきりと示す場合は、比較級の前に **a little, a bit**(少し), **a lot, lots, much**(ずっと), **far**(はるかに), **even, some, still**(さらに), **rather, somewhat**(いくぶん) などをつける。

This problem is **much more difficult** than that one.

(この問題はそれよりずっと難しい)

You are an **even better swimmer** than him [he is].

(君は彼よりもさらに泳ぎが上手だ)

注意 「ずっと多くの～」の意味の many more ~, much more ~ は、後に来る名詞の種類で使い分ける。

〈many more + 数えられる名詞(複数形)〉
 〈much more + 数えられない名詞〉 } となる。

more には a lot, far, some などをつけられるが、これらは名詞の種類に関係なく使える。

He has **many [a lot] more books** than you.

↳ 数えられる名詞(複数形)

(彼はあなたよりずっと多くの本を持っている)

Tools cost **much [a lot] more money** than we expect.

↳ 数えられない名詞

(道具類には私たちが予想するよりずっと多くのお金がかかる)

Point 3 the + 比較級 + of the two

〈the + 比較級 + of the two〉は「2つ[2人]のうち～のほう」の意味を表す(→ 235)。ものを「2つ[2人]のうち1つ[1人]」に特定する表現なので、比較級に the がつく。of the two は of A and B(AとBのうち)の形をとる場合もある。

Taro speaks English **the more fluently of the two**.

(2人のうち太郎のほうが英語を流ちょうに話します)

Of gold and copper, the former is by far the more valuable.

(金と銅のうちでは前者のほうがずっと高価だ)

注意 of the two は文の流れからみて、意味が明らかな場合は省略される。

Here are two hats. Which is **the better (of the two)?**

(ここに2つ帽子がある。どちらのほうがいい?)

銅は copper だが、「銅メダル」は bronze(青銅) medal。

Point 4 less + 原級 + than

〈A ... less + 原級 + than B〉は「AはBほど～でない」の意味(→ 236)。2つのものを比べて、一方が他方より劣っていることを表す。この表現は文語的で、一般的には同じ意味を表す〈A ... not as [so] + 原級 + as B〉のほうが好まれる。

Ann is **less bright than** her brother. (アンは兄さんほど聡明ではない)

→ Ann is not as bright as her brother.

He behaves **less foolishly than** you (do).

(彼は君ほどばかまねはしない)

注意 the less + 原級 + of the two

「2つのうち～でないほう」を意味する。

This is **the less expensive of the two** cameras.

(2つのカメラのうちこちらのほうが値段が高くない)

参考 less + 名詞

less には「(量・数・程度などが)もっと少ない、(価値などが)もっと小さい」という形容詞の意味もあり、名詞も修飾できる。

My father does **less work** now than he did before.

(父は現在は以前ほど仕事をしていない)

ギモンのタネ(28) 「間違いが少ない」は less mistakes? それとも fewer mistakes?

less は「(量・程度などが)少ない」の意味を表す形容詞 little の比較級だが、複数名詞を修飾して「(数)もっと少ない」という意味でも使うことができる。

less はふつう数えられない名詞とともに使われるが、現在では、口語のくだけた表現で、数えられる名詞とともに fewer よりも一般的に使われるようになってきている。

I made **less [fewer] mistakes** on the English exams than Ken.

(私は英語の試験で間違いをケンほどしなかった)

➔ 〈less + 複数名詞〉〈fewer + 複数名詞〉どちらもOK

CHECK AND EXPRESS 107

日本語の意味を表すように、()内の語(句)を並べかえなさい。

- 木村さんは私よりも3歳年上です。 Ms. Kimura is (than / three years / am / older / I).
- 2人のうちどちらの少年がより背が高いですか。 Which boy is (two / the / taller / the / of)?
- それは思ったよりもずっと時間がかからなかった。 It took (less / much / I / time / than) thought.

S108 必修

最上級を用いた比較表現(1) the + 最上級 + in [of] / that ...

237 Sydney is **the largest city** in Australia.

シドニーはオーストラリアで最大の都市です。

238 I like soccer **(the) best of** all sports.

私はすべてのスポーツの中でサッカーが一番好きです。

239 This is **the most beautiful scene (that)** I have ever seen.

これは私が今までに見た中で一番美しい景色です。

Point 1 (the +) 最上級 + in [of] _

(A ... (the +) 最上級 + in [of] _) は「Aは〜の中で一番〜」の意味。

3つ以上のものを比べてその中でAが最も程度が高いことを示す。

in _ は比較の範囲を、of _ は比較の対象を示す(→ 237, 238)。

Love is **the most valuable thing** in the world.

形容詞

比較の範囲

(愛は世界で最も大切なものだ)

Jim is **the cleverest of** them all.

形容詞

比較の対象

(ジムは彼らみんなの中で一番利口だ)

形容詞の最上級にはふつう the をつける。副詞の最上級には the をつけないのが原則だが、最近ではつけることもある。特に in [of] _ で比較の範囲・対象が限定されたり、形容詞と同形の副詞を用いる場合に多い。

She practices **the hardest** of the four.

副詞

(彼女は4人の中で一番熱心に練習する)

【注意】「〜の中で」を表す in と of の使い分け

in + 単数の名詞(→ 237 比較の範囲)

in Japan (日本中で), in my family (家族の中で) など

of + 複数の名詞(→ 238 比較の対象)

of all ~ (全部の〜の中で), of the four ~ (4つの〜の中で) など

【注意】 in [of] _ の省略

最上級の後にいつも in [of] _ が続くとは限らない。比較の範囲[対象]が明らかな場合はよく省略される。

This is **the most useful** English grammar book.

* of all English grammar books が省略されている。

(これが一番役に立つ英文法の本です)

【注意】 最上級を強める語句

最上級の強調には **much, by far, possible, very** などを用いる。much, by far は (the + 最上級) の前に置く。

He was **much [by far] the most skillful**.

(彼ははずば抜けて腕がよかった)

valuable は value (価値) + able (〜を持った) で「価値のある、大切な」。

possible は名詞の前か後に置く。

It's **the best possible** solution [*the best solution possible*].

(それは最上の解決策です)

very は the と最上級の間に置く。

This is **the very best** way to do it.

(これはそれを行うまさに最良の方法です)

【参考】 同一人[物]についての比較

形容詞の最上級にはふつう the をつけるが、同一の人[物]について言う場合は the をつけない。

This lake is **the deepest** in Japan. [他の湖との比較]

(この湖は日本で一番深い)

This lake is **deepest** here. [同一の湖での比較]

(この湖はここが一番深い)

I feel **happiest** when I am in school.

(私は学校にいるときが一番楽しい)

【参考】 even の意味を含む最上級

最上級には even 「〜でさえも」の意味が含まれることがある。他の表現と形は全く同じだから、意味は文脈から判断しよう。

The smallest child knows such things.

= **Even the smallest child**

(どんなに幼い子どもでもそんなことは知っている)

The wisest man does not know everything.

(どんなに賢い人でも何でも知っているとは限らない)

Point 2 the + 最上級 + that ...

比較する範囲を **that ...** (関係代名詞の節) を用いて示す表現がある。「...する[である]中で一番〜」の意味で、that 以下には経験を意味する完了形の動詞を使うことが多い(→ 239)。

This is **the heaviest snowfall (that)** we have had for fifty years.

(これは50年ぶりの[この50年間に経験した中で一番の]大雪だ)

He is **the most efficient man (that)** we can choose.

(彼は私たちが選べる最も有能な人です)

That's **the brightest smile (that)** I've ever seen. (あれはこれまでに

見たことがないような明るい笑顔だ[これまでに見た中で一番明るい笑顔だ])

possible は「可能な、できる限りの」の意味。

efficient は「有能な、能率的な」、effective は「効果的な」。

CHECK AND EXPRESS 108

日本語の意味を表すように、()内の語を並べかえなさい。

1. この3つのうちどの道が最短ですか。

Which route (the / these / of / shortest / is) three?

2. 彼女は肖像画を描くのがずば抜けて上手だ。

She is (far / skillful / the / by / most) in drawing portraits.

3. これは私たちが行った中で一番すてきなパーティーだ。

This is the nicest party (had / we / ever / that / have).

§109 必修

最上級を用いた比較表現(2) the second ~など

240 What is the **second largest** city in Japan?

日本で第2の大都市はどこですか。

241 This is **one of the most exciting** games I've ever watched.

これは私が今までに見た最も興奮したゲームの1つです。

242 This is the **least interesting** novel I've ever read.

これは僕が今までに読んだ最もつまらない小説だ。

Point 1 the second +最上級

最上級に序数詞 **second** [**third**] などをつけると、「2番目 [3番目] に(最も)~な」の意味を表す。240 では the second largest で「2番目に大きな」を示している。

Cycling is the **second most popular** sport in Europe.

(サイクリングはヨーロッパで2番目に人気のあるスポーツだ)

Vancouver is the **third largest** city in Canada.

(バンクーバーはカナダで第3の都市です)

Point 2 one of the +最上級

「一番~」なものが1つに絞れないこともある。そのような場合は **one of the +最上級+複数名詞** で「一番~なものの1つ」を表す。最上級の後に名詞の複数形が来ることに注意(→241)。

He is **one of the brightest boys** in this class.

複数形

(彼はこのクラスで一番利口な生徒の1人だ)

We visited **one of the most famous tourist spots**.

(私たちは一番有名な観光地の1つを訪れた)

Q参考 any [some] of the +最上級+名詞

「最も~なもののいくつか [いくらか]」の意味を表す表現で、数えられる名詞も数えられない名詞も用いることができる。

Have you met **any of the most famous actors**?

数えられる名詞

(あなたは最も有名な俳優の誰かに会ったことがありますか)

— Yes, I have met **some** (of them).

(はい、会ったことがあります)

— No, I haven't met **any** (of them).

(いいえ、会ったことはありません)

bright は「(光を出して)輝いている」の他、「利口な、頭のよい」の意味もある。

Have you tasted **any of the best food** at that restaurant?

数えられない名詞

(あなたはあのレストランで最高の料理をいくらか味わったことがありますか)

— Yes, I have tasted **some** (of it).

(はい、いくらか味わいました)

— No, I haven't tasted **any** (of it).

(いいえ、何も味わっていません)

taste は「(人が)~を味わう」の他、「(食物が)~の味がする」の意味もある。

→ p.55 参照

Point 3 the least +原級

副詞 **little** の最上級 **least** を形容詞や副詞につけて、「(程度が)一番~でない」の意味を表す表現もよく用いられる(→242)。

It's the **least important** matter.

(それは一番どうでもいい[重要でない]問題だ)

He speaks the **least clearly** of them.

(彼が彼らの中で一番はっきりとものを言わない)

CHECK AND EXPRESS 109

日本語の意味を表すように、()内に適当な1語を入れなさい。

1. 日本で2番目に大きな都市はどこですか。

What is the () largest city in Japan?

2. ニューヨークは世界で最も有名な都市の1つだ。

New York is () () the most famous cities in the world.

3. 今年は日本で最も美しい地域のいくつかを訪ねましょう。

Let's visit () () the most beautiful parts of Japan this year.

4. 3つの計画のうち、最も重要でないと思われるものはどれですか。

Which do you think is the () important of the three plans?



衛生がインフルエンザの拡散を防ぐ最も大切なステップです。(新型インフルエンザに関するパンフレット)▶

S110 必修

最上級 ⇄ 比較級 ⇄ 原級

243 Lake Biwa is the largest lake in Japan.

琵琶湖は日本で一番大きな湖だ。

→ 244 Lake Biwa is larger than any other lake in Japan.

琵琶湖は日本の他のどの湖よりも大きい。

→ 245 No (other) lake in Japan is larger than Lake Biwa.

琵琶湖よりも大きな湖は日本にない。

→ 246 No (other) lake in Japan is as large as Lake Biwa.

琵琶湖ほど大きな湖は日本にない。

最上級と同じ意味を、比較級・原級を用いて表すことができる。243は最上級の文だが、その内容を244, 245では比較級, 246では原級を用いて表現している。

Point 1 比較級 + than any other ... 「他のどの…よりも～」

〈比較級 + than any other ...〉で、「他のどの…よりも～」の意味を表す。

244の意味は「琵琶湖は日本の他のどの湖よりも大きい」つまり「琵琶湖が一番大きい」ということになる。any otherの後には単数名詞が来る。

any other ... の他に、〈(all) the other + 複数名詞〉や anything [anybody] else も用いられる。

He sings better than

}	any other person
	the other people
	anybody else

 I know.

(彼は私が知っている他のどの人よりも歌が上手です)

→ He is the best singer of all the people I know.

Point 2 否定語 + 比較級 + than ... 「…より～なものはない」

〈否定語 + 比較級 + than ...〉で、「…より～なものはない」の意味を表す。

245は「琵琶湖より大きな湖は日本にない」つまり「琵琶湖が日本で一番大きい」となる。

否定語には、〈no (other) + 単数名詞〉の他に、nothing [nobody, no one, none]なども用いられる。

Nothing is more important than peace. (平和より大切なものはない)

→ Peace is the most important (thing) of all.

None of them can run faster than Bob.

(彼らの中でボブより速く走れるものは誰もいない)

→ Bob is (the) fastest runner of them all.

peace(平和)は piece(かけら)と発音が同じ。

Point 3 否定語 + as + 原級 + as ... 「…ほど～なものはない」

〈否定語 + as [so] + 原級 + as ...〉で「…ほど～なものはない」の意味を表す。246は「琵琶湖と同じくらい大きな湖は日本にない」つまり「琵琶湖が日本で一番大きい」ということになる。

No (other) city in Japan is as [so] big as Tokyo.

(東京ほど大きな都市は日本には他にない)

→ Tokyo is the biggest city in Japan.

Nobody in our company is as [so] competent as Mr. Yamada.

(会社には山田さんほど有能な人はいない)

→ Mr. Yamada is the most competent in our company.

Nothing is as horrible as a typhoon.

(台風ほど恐ろしいものはない)

→ A typhoon is the most horrible thing.

参考 (never + 比較級 + than ...) など

最上級に相当する意味を比較級・原級を用いて表すには、次のような形もある。

I have never seen a lovelier scene than this.

(私はこれより美しい景色を見たことがない)

I have never seen as [so] lovely a scene as this.

(私はこれほど美しい景色を見たことがない)

→ This is the loveliest scene that I have ever seen.

(これは私が今までに見た一番美しい景色だ)

seen (see の過去分詞) と scene (景色) は発音が同じ。

CHECK AND EXPRESS 110

次の文を、指示した比較級と原級を用いた文に書きかえなさい。

1. Mt. Fuji is the highest mountain in Japan. (比較級 + than any other ...)

Mt. Fuji is _____.

2. Mr. Kimura can speak English the best of us all. (否定語 + 比較級 + than ...)

None of us _____.

3. This is the most exciting book I've ever read. (否定語 + as [so] + 原級 + as ...)

I've never read _____.

S111 発展

原級を用いた注意すべき表現

247 He can speak **as many as** six languages very well.

彼は6つの言語を非常に上手に話することができる。

248 You should start **as early as possible** [you can].

できるだけ早く出かけたほうがいいでしょう。

249 She is **not so much** a singer as a TV personality.

彼女は歌手というよりはむしろテレビタレントだ。

Point 1 as many [much] as ... 「…もの～」

〈as many [much] as + 数詞〉は数や量が多いことを強調し、「…もの～」の意味で用いられる。247では「6つの言語」が数として多いという意味合いで使われている。数の多さについてはmany, 量の多さについてはmuchを用いる。

There were **as many as** fifty thousand people at the concert.
(そのコンサートには5万人もの人々が来た)

This hat cost me **as much as** twenty thousand yen.
(この帽子は2万円もした)

〈as + 形容詞[副詞] + as + 数詞〉でも、同様の強調を表せる。

It took him **as long as** five weeks to read the English novel.
(彼はその英語の小説を読むのに5週間も[長く]かかった)

My father gets up **as early as** four o'clock every morning.
(父は毎朝早くも4時に起床します)

cost(費用がかかる)は
cost - cost - cost
と活用する(すべて同じ形)。

Point 2 as ~ as possible 「できるだけ～」

as ~ as possible [one can]で「できるだけ～」を表す(→248)。oneには文の主語(動作をする人)が入る。canは過去の文ではcouldとなる。

He earned **as much money as possible** [he could].
(彼はできるだけたくさんのお金をかせいだ)

Q参考 as ~ as (~) can [could] be

as ~ as one canと似ているが、この表現は「この上なく～、最高に～」の意味で、asには含まれている形容詞を強調する場合に用いる。後に繰り返される形容詞は省略することが多い。

She is **as helpful as** (helpful) can be.
(彼女はこの上なく役に立つ)

I was **as happy as** (happy) can be.
(私はこの上なく幸福だった)

Point 3 not so much A as B 「AよりむしろB」

〈not so much A as B〉はAを否定して、「Aではない」→「Bだ」となる。249では「歌手」を否定し、「テレビタレントだ」と述べている。「AよりむしろB」の意味になる。

Oceans **don't so much divide the world as unite it.**

(海は世界を分割していない。世界を結合している。)

→海は世界を分割しているというよりもむしろ結合している)

〈B rather than A〉などを用いても、ほぼ同じ意味が表せる。

→ Oceans unite the world **rather than** divide it.

Q参考 似た形の表現に気をつけよう。〈not so much as + 動詞〉は「～さえしない」、〈without so much as + 動名詞〉は「～さえしないで」の意味を表す。

She will **not so much as** clean her room.

(彼女は自分の部屋を掃除することさえしない)

A visitor entered **without so much as** knocking.

(客はノックさえしないで入ってきた)

unite(1つにする)のuni-は「1つ」を意味する接頭辞。uniform(制服), unicycle(一輪車)なども。

Point 4 as ~ as any 「どれ[誰]にも劣らず～」

〈as ~ as any + 単数名詞〉の形で、「どれ[誰]にも劣らず～」と、最上級に近い意味を表す。

John is **as diligent as any** (student) in this class.

(ジョンはこのクラスの誰[どの生徒]にも劣らず勤勉だ)

Point 5 as ~ as ever + 動詞 「今まで…したことがないほど～」

〈as ~ as ever + 動詞〉は「今まで…したことがないほど～」を表して、最上級に近い意味を含む。

He is **as great a** baseball player **as ever** lived.

形容詞 a [an] 名詞

* 語順に注意。 → p.227 参照

(彼はいまだかつてないくらい優秀な野球選手だ)

!注意 as ~ as ever

as ~ as の後が ever だけの場合は「あいかわらず～」の意味で用いる。

I'm **as busy as ever.** (私はあいかわらず忙しい)

CHECK AND EXPRESS 111

日本語の意味を表すように、()内に適当な1語を入れなさい。

1. 私はこの本に5000円も払った。

I paid () () () five thousand yen for this book.

2. できるだけ高く跳びなさい。

Try to jump () high () ().

3. 彼は貧しいというよりも金遣いが荒い。

He's () () () poor () careless with his money.

§112 発展

比較級を用いた注意すべき表現(1)

250 You are becoming **wiser and wiser**.

あなたはだんだん賢くなっている。

251 **The longer** we live in this town, **the more** we like it.

この町は長く住めば住むほど、ますます好きになります。

252 I like Bob **all the better** for his diligence.

ボブは勤勉だから、よけいに私はボブが好きです。

Point 1 比較級 + and + 比較級「だんだん〜」

〈比較級 + and + 比較級〉は程度が次第に増加または減少していくことを示し、「だんだん〜、ますます〜」の意味を表す(→ 250)。

It is getting **warmer and warmer**.

(だんだん暖かくなっている)

比較級に more を用いる形容詞・副詞は〈more and more + 原級〉の形にする。

He has come to study **more and more eagerly**.

(彼はだんだん熱心に勉強するようになった)

[× more eagerly and more eagerly は誤り]

! 注意 more and more

more は many または much の比較級で、more and more は「ますます多く(の〜)」の意味。形容詞として名詞を修飾したり、副詞句としても用いられる。

More and more people are using computers. [名詞を修飾]

(ますます多くの人々がコンピューターを使っている)

I've come to like this song **more and more**. [副詞句]

(私はこの歌がますます好きになってきた)

Q参考 〈more and more + 原級〉の反対の意味は〈less and less + 原級〉の形を用いて表す。

Jim is becoming **less and less popular**.

(ジムはだんだん人気がなくなってきている)

less and less も more and more と同様に、次のようにも用いられる。

I have **less and less time** to play with the children. [名詞を修飾]

(私は子どもたちと遊ぶ時間がだんだん少なくなっている)

My grandfather works **less and less**. [副詞句]

(私のおじいさんはだんだん働かなくなっている)

Point 2 the + 比較級 ~, the + 比較級 ... 「~すればするほど…」

〈the + 比較級 ~, the + 比較級 ...〉は「~すればするほど(それだけ)ますます…」と、2つの動作や状態が比例的に増加・減少することを表す。

251 では、「この町に住む」長さと「町を好きになる」度合いが比例的に増えることを表している。比較級の前の the は程度を表す副詞で、「~するほど」「それだけ…」の意味を表す。

The harder he tried, **the more successful** he became.

(彼は努力すればするほど、ますます成功した)

この表現は〈S + V〉を省略した形でもよく用いられる。

The sooner you leave, **the better**.

(あなたは早く出発すればするほどよい)

Q参考 as ~ 比較級, ... 比較級

比較的な増加・減少は、as(〜につれて)を用いても表せる。「〜につれてますます…」の意味になる。

As he grew older, he became **more forgetful**.

(彼は年をとるにつれていっそう忘れっぽくなった)

→ **The older** he grew, **the more forgetful** he became.

successful は形容詞。
動詞は succeed (成功する)。

Point 3 (all) the + 比較級 + for ... 「…なのでいっそう〜」

〈(all) the + 比較級 + for [because など] ...〉は「…なので(それだけ)いっそう〜」の意味を表す。ある理由で程度が増加・減少することを述べる表現。all は強調の意味で用いられ、省略することもできる。the は副詞「それだけ〜」の意味。for [because, since など] ... で理由を示す。

252 では his diligence が理由で、like Bob all the better(ボブをいっそう好きになる)となる。

252→ I like Bob **all the better** because he is diligent.

Ms. Smith was angry because I was late. She was **all the more angry** because I had forgotten my homework.

(スミス先生は私が遅刻したので怒った。宿題を忘れたのでいっそう怒った)

Q参考 none the + 比較級 + for ...

all の代わりに否定語の none をつけると「…だからといって(それだけ)少しも〜ではない」の意味を表す。

He seems **none the happier** for his wealth.

→ He does not seem happy even though he is wealthy.

(彼は金持ちであるとはいえ少しも幸福そうではない)

wealthy は「裕福な」、
healthy は「健康的な」。

CHECK AND EXPRESS 112

日本文の意味を表すように、()内に適当な1語を入れなさい。

- 日はだんだん短くなってきている。
The days are getting () () () .
- 彼は人生でだんだん不幸になってきている。
He is () () () happy with his life.
- 道のりが長ければ長いほど、切符は高くなる。
() () the journey, () () () the ticket.
- 私は薬を飲んでますます気分が悪くなった。
I felt () () () after taking the medicine.

§113 発展

比較級を用いた注意すべき表現(2)

253 A bat is **no more** a bird **than** a rat is (a bird).

コウモリが鳥でないのは、ネズミが鳥でないのと同じだ。

254 My father has **not less than** 500 books.

父は本を少なくとも500冊は持っている。

255 A trip to the moon is **no longer** a dream for mankind.

月旅行は人類にとってもはや夢ではありません。

Point 1 no more ~ than ...

〈A is no more B than C is D〉は「AがBでないのはCがDでないのと同じ」「CがDでないのと同様AはBでない」の意味を表す。B = DのときDは省略する。これは絶対に事実でないことをthan以下に引き合いに出して、主語の事実を強く否定する構文である。253で考えると、「ネズミは鳥だ」は絶対に事実ではない。

→「コウモリは鳥だ」は「ネズミは鳥だ」と言うのと同じことである。

→「コウモリは鳥ではない」

〈A is not B any more than C is D〉の形も用いられる。

253→ A bat is not a bird **any more than** a rat is (a bird).

Q参考 A is no less B than C is D

「AがBであるのはCがDであるのと同じ」を表す。no more ~ than ...とは逆に、主語の事柄を肯定する構文。

He is **no less** bright **than** you.

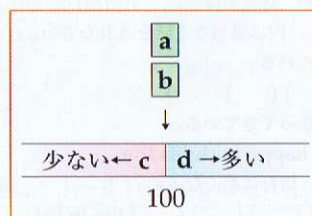
(彼は君と同じように頭がよい)

Point 2 no more than など (→ 254)

no more than ~	「~しかない」	(= only)
no less than ~	「~もある」	(= as many [much] as)
not more than ~	「せいぜい ~」	(= at most)
not less than ~	「少なくとも ~」	(= at least)

a	no more than 100	a	= 100
b	no less than 100	b	= 100
c	not more than 100	c	≤ 100
d	not less than 100	d	≥ 100

*a, bは感じ方で表現が変わるだけで、表す数は同じ。



ratはmouse(ハツカネズミ)より大きめの「ドブネズミ」を言う。

I have **no more than** fifty thousand yen.

(私は5万円しか持っていない)

I have **no less than** fifty thousand yen.

(私は5万円も持っている)

I have **not more than** fifty thousand yen.

(私が持っているのはせいぜい5万円だ)

I have **not less than** fifty thousand yen.

(私は少なくとも5万円は持っている)

!注意 no fewer than ~

数の多いことを強調して「~もある」の意味を表す場合はこの表現も可能。no less than ~は数にも量にも用いるが、no fewer than ~は数にだけ用いる。

No fewer than fifty people were present at the party.

(そのパーティーには50人もの人が出席した)

Q参考 〈no + 比較級 + than ~〉の他の表現

no better than ~ (~よりも少しもよくない、~も同然), no later than ~ (~よりも少しも遅れず、~までには必ず), no smaller than ~ (~よりも少しも小さくない、~ほども大きい)などがある。これらのnoは強い否定を表し、no smaller than ~ = as large as ~ のように、〈as + 反意語の原級 + as〉と同等の意味を表す。

The room is **no smaller than** the assembly hall.

= as large as

(その部屋は講堂ほどの大きさがある)

It's **no better than** a piece of junk.

(それはがらくた同然だ)

Point 3 no longer, no more

no longer, no moreは「もはや~でない」の意味を表す(→ 255)。no longer と no more は交換が可能である。not ~ any longer, not ~ any more も同じ意味を表す。

255→ A trip to the moon isn't a dream for mankind **any longer**.

The child was smiling **no more**.

(その子はもう笑っていなかった)

→ The child was **not** smiling **any longer** [more].

CHECK AND EXPRESS 113

日本語の意味を表すように、()内に適当な1語を入れなさい。

1. あなたは私と同様、教師には向いていない。

You are no more fit to be a teacher () I am.

2. その絵は20万円もする。

The picture will cost no () than 200,000 yen.

3. 彼らは帰国した。もうここには住んでいない。

They have gone back to their country. They no () live here.

形容詞の present は「出席して」、pleasantも形容詞で「楽しい」。

§114 発展

比較級を用いた注意すべき表現(3)

256 I don't have a bike, **much [still] less** a car.

私は自転車を持っていない、まして車なんて持ってない。

257 You should **know better than** to call late at night.

君は夜遅くに電話をかけたりにしないだけの分別があるべきだ。

258 He is three years **senior to** me.

彼は僕より3つ年上だ。

Point 1 **much [still] less ~** (→ 256)

much [still] less ~は「なおさら～ない」の意味で、否定文に続けて用いる。**much [still] less**の後には強調したい語句をつける。

He can't read English, **much [still] less** write it.

(彼は英語が読めない、書くことはなおさらできない)

She doesn't want to see him, **much [still] less** marry him.

(彼女は彼に会いたくない、結婚はなおさらしたくない)

Point 2 **know better than to ~** (→ 257)

know better than to ~は「～するほどばかりではない」の意味を表す。「～しないだけの分別がある」ことを述べる表現で、話の流れから意味が明らかかな場合は **than** 以下を省略できる。

I **know better than to** quarrel with him.

(僕は彼とけんかをするようなばかりではない)

Don't tell lies; you're big enough to **know better**.

(うそはつくな、君はもう分別のつく年頃だ)

Point 3 **senior to ~ など** (→ 258)

junior(年下の), **senior**(年上の), **superior**(すぐれた), **inferior**(劣った)などの語尾が **-or** で終わる比較級には、**than** ではなく **to** を用いる。

She is five years **junior to** me.

(彼女は私より5歳年下です)

→ She is five years my **junior**.

→ She is five years **younger than** me.

He is much **superior to** you at English.

(彼は君よりも英語がずっとうまい)

→ He is much **better than** you at English.

この4つはいずれもラテン語由来の語。

/注意 **prefer A to B**

動詞 **prefer**(～を好む)とその形容詞 **preferable**(好ましい)にも **to** を用いる。

I **prefer** watching baseball **to** playing it.

(僕は野球をするより見るほうが好きだ)

→ I **like** watching baseball **better than** playing it.

Your idea is **much [far] preferable to** his.

→ **preferable**の強調には **much, far** などを用いる

(あなたの考えのほうが彼の考えよりずっと好ましい)

Point 4 **絶対比較級**

比較級の中には、他のものと明確に比較するのではなく、ただ漠然と程度の高いことを表すだけのものがある。これを絶対比較級と言う。**than ~**を伴わず、ふつう、名詞の前に置いて用いる。

the **younger** generation(若い世代)

higher education(高等教育)

the **upper** class(上級階級)

a **lower** animal(下等動物) など

CHECK AND EXPRESS 114

日本語の意味を表すように、()内に適当な1語を入れなさい。

1. 彼はテレビを買うお金もない。車を買うお金はなおさらない。

He doesn't even have enough money to buy a TV, much () a car.

2. 私は彼の言ったことを信じるほどばかりではない。

I know () than to trust what he has said.

3. 兄は私の3歳年上です。

My brother is three years () to me.

4. 多くの日本人が高等教育を受けている。

Many Japanese people receive () education.

表現BOX 14 相違の表し方

2つのものの相違は、次のような構文・語句を使っても表せる。

① Your experience is **different from** mine.

(あなたの経験は私のと異なっている)

② The outcome of the election was **not at all like** what I had expected.

(選挙の結果は予想していたのと全然違っていった)

③ This cocktail is **not the same as** that one.

(このカクテルはあのカクテルと同じではない)

④ The climate of Japan is **not as dry as** that of Kansas.

(日本の気候はカンザス州の気候ほど乾燥していない)

§115 発展

最上級を用いた注意すべき表現

259 Your old car is worth 100,000 yen **at (the) best**.

あなたの古い車はせいぜい10万円の価値しかない。

260 The tulips in our garden are now **at their best**.

庭のチューリップは今が真っ盛りです。

261 **Make the most of** your vacation. 休暇をできるだけうまく利用しなさい。

Point 1 at (the) + 最上級「どんなに〜でも」

「at (the) + 最上級」は「どんなに[最も]〜でも」の意味を表す。「一番〜に見積もって」の意味合いで用いる慣用的な副詞句(→259)。

at (the) best (よくても、せいぜい), at (the) worst (悪くても),
at (the) most (多くても、せいぜい), at (the) least (少なくとも),
at (the) earliest (早くとも), at (the) latest (遅くとも) など

At (the) most you might earn 200,000 yen a month.

(せいぜい月に20万円しかかせげないかもしれないよ)

He won't be punished. At (the) worst he'll be scolded.

(彼は罰せられないだろう。悪くても、叱られるくらいだ)

The book will cost at least 2,000 yen.

(その本は少なくとも2000円はするだろう)

My father will come home at nine at the earliest.

(父の帰宅は早くとも9時になるだろう)

注意 at last

at last は「ついに」の意味を表す。常は無冠詞で用いる。

Joan has managed to get a job at last.

(ジョーンはついになんとかして仕事につけた)

punish は「罰する」,
publish は「出版する」。

Point 2 at one's best 「最もよい状態で」

at one's best はある人や物が最高の状態であることを示し、「最もよい状態で」の意味を表す(→260)。それに対して at one's worst は「最も悪い状態で」と最悪の状態にあることを表す。

I'm always at my best after taking a walk in the morning.

(私は朝散歩をするといつも最高の気分になります)

The state of the economy is now at its worst.

(経済状態は今や最悪です)

Point 3 make the most of ~ 「〜を最大限に利用する」

make the most of ~ は「〜を最大限に利用する」の意味(→261)。make the most of ~ は「有利な事情をできるだけ(有効に)利用する」だが、「不利な事情の中でできるだけがんばる」という意味合いでは、make the best of ~ を用いる。

I'll have to make the best of a bad situation.

(私は悪い状況の中でできるだけがんばらないといけない)

Point 4 not in the least 「少しも〜ない」

not (~) in the least は否定を強めるために用いられ、「少しも〜ない」の意味を表す。not ~ at all と同じ意味だが、少し強意的な表現。

She's not in the least worried about it.

(彼女はそれをちっとも気にしていません)

Detective stories don't interest me in the least.

(推理小説には私は少しも興味がありません)

detective は「探偵」を意味する。

Point 5 do one's best 「全力をつくす」

do one's best は「全力をつくす」の意味。動詞 do の代わりに try も用いられる。

He will do [try] his best to finish it on time.

(彼は時間通りそれを終えるよう全力をつくすだろう)

Point 6 絶対最上級

most が単に程度が高いことを表し、very (とても) の意味で用いられることがある。この用法の最上級を絶対最上級と言う。後に名詞が来る場合でも the をつけない。

His speech is most convincing.

(彼の話はとても説得力がある)

He is a most proud person.

(彼はとても高慢な人だ)

CHECK AND EXPRESS 115

日本語の意味を表すように、() 内に適当な1語を入れなさい。

- 彼女は少なくとも私の2倍早くタイプできる。
She can type () () twice as quickly as I can.
- 彼は物事が最も悪い状態にあるときさえも楽観的だ。
He is always optimistic, even when things are () their () .
- 短い休みしかないのです、それを最大限に活用しよう。
We have only a short rest, so let's make () () () it.
- ご迷惑でしょうか。——いいえ、少しも。
Am I troubling you? — No, not () () () .
- いつでも最善をつくしましょう。
Let's () our () at all times.

♪ 声に出して読みたい英文 ⑤

友達に「サンタクロースはいない」って言われたけど、本当なの？— 1897年、8歳の女の子 Virginia が新聞社に送った質問に答え、記者が社説に載せたのが、以下の文章（一部抜粋）である。この社説は当時大評判となり、その後長年にわたって人々に親しまれている。皆さんなら、彼女の問いに対してどう答えるだろうか。

Virginia, your little friends are wrong. They have been affected* by the skepticism* of a skeptical* age. They do not believe except they see. They think that nothing can be which is not comprehensible* by their little minds. All minds, Virginia, whether they be men's or children's, are little.

(中略)

Yes, Virginia, there is a Santa Claus. He exists as certainly as love and generosity* and devotion* exist, and you know that they abound and give to your life its highest beauty and joy.

Alas! How dreary* would be the world if there were no Santa Claus! It would be as dreary as if there were no Virginias. There would be no childlike faith then, no poetry, no romance to make tolerable* this existence.* We should have no enjoyment, except in sense and sight. The eternal* light with which childhood fills the world would be extinguished.*



注 affect 影響する skepticism 懐疑的な態度 skeptical 疑い深い
comprehensible 理解できる generosity 寛大さ devotion 献身
dreary 寂しい tolerable 耐えられる existence 存在 eternal 永遠の
extinguish 消える

特集 ③

句と節

名詞、形容詞、副詞はそれぞれが独立して1語で使われる。しかし、文中ではよく2つ以上の語がまとまって名詞や形容詞、副詞と同じ働きをする。それが句・節である。この句と節の働きを簡単にまとめておこう。

1 句は〈S + V〉のない語のまとまり

〈主語＋述語動詞〉を含まない2つ以上の語が集まって、1つの品詞と同じ働きをするものを句 (phrase) と言う。句は文中の働きによって、名詞句・形容詞句・副詞句の3つに分けられる。

① 名詞句

名詞の働きをし、主語・補語・目的語になる。名詞句になるのは主に不定詞・動名詞である。

Getting up early is good for your health. (主語)

(早起きは健康によい)

My ambition is to be a writer. (補語)

(私の夢は作家になることだ)

He enjoys playing baseball. (目的語)

(彼は野球を楽しんでいる)

② 形容詞句

名詞・代名詞を修飾したり、補語になる。主に不定詞・分詞・〈前置詞＋(代)名詞〉が形容詞句になる。

I want something to eat. (代名詞を修飾)

(何か飲む物がほしい)

That machine is out of use now. (補語)

(あの機械は今使われていない)

③ 副詞句

動詞・形容詞・副詞を修飾したり、文全体を修飾する。主に不定詞・分詞・〈前置詞＋(代)名詞〉が副詞句になる。

He goes for a walk with his dog every morning. (動詞を修飾)

(彼は毎朝犬を連れて散歩に行く)

To begin with, you are too optimistic. (文全体を修飾)

(そもそも、あなたは楽観的すぎる)